【GMCPLM0033】

DMAT・DPAT

- DMAT・DPATって何？
- DMAT・DPATの違い
- 五稜会病院での災害時対策

Japan Disaster Medical Assistance Team

Disaster Psychiatric Assistance Team

こころと身体のクリニック
医療法人社団
五稜会病院

令和6年1月作成

日本は地震多発国

20mを超える大きな津波

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震

根室沖：30年以内に地震が発生する確率：60%
など様々なケース

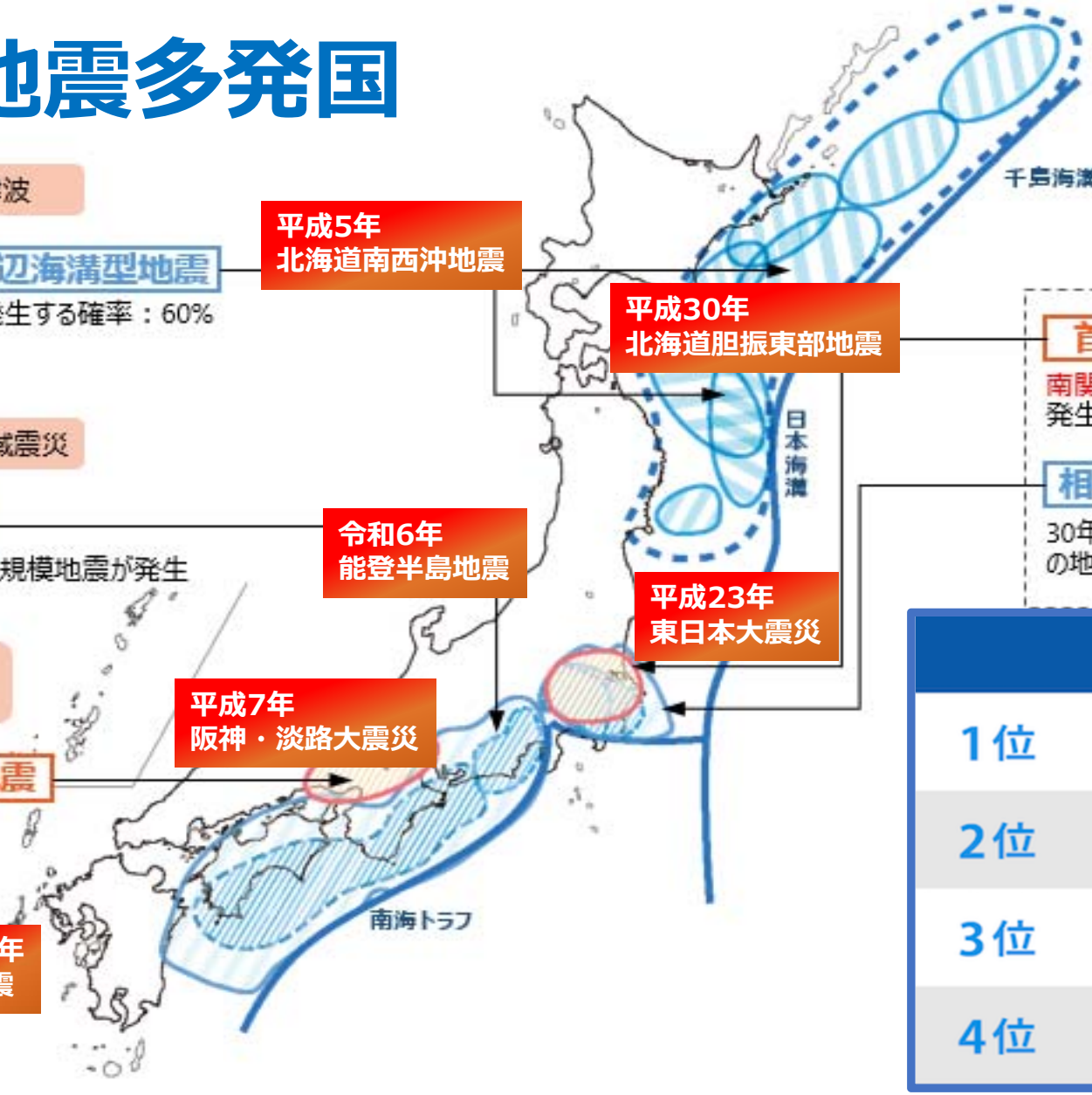
西日本全域に及ぶ超広域震災

南海トラフ地震

30年以内にM8～M9クラスの大規模地震が発生する確率：70%程度

老朽木造市街地や
文化財の被災が懸念

中部圏・近畿圏直下地震



海溝型地震

直下型地震

我が国の中枢機能の
被災が懸念

首都直下地震

南関東域で30年以内にM7クラスの地震が発生する確率：70%程度

相模トラフ沿いの海溝型地震

30年以内に大正関東地震タイプなどM8クラスの地震が発生する確率：ほぼ0～5%

国別の年間地震頻度	
1位	中国（2.10）
2位	インドネシア（1.62）
3位	イラン（1.43）
4位	日本（1.14）

災害派遣医療チーム（DMAT）

新興感染症蔓延時や
発災直後から**48時間以内**に活動する
訓練を受けた医療チーム

DMAT
Japan Disaster Medical Assistance Team
DMAT活動要綱

～活動内容～

医療供給体制の支援
傷病者の生命を守る

本部活動
搬送　情報収集・共有　診療
初期の避難所等のサポート

１チーム４～5名

©Smart119 inc.

災害派遣医療チーム

DMATってなに？

Smart119

災害発生時、一度はテレビなどで聞いたことある「DMAT」
実際にどのような活動をしているのでしょうか？

(株)Smart119 CEO
千葉大学 救急集中治療医学 教授
中田孝明先生

★DMATとは…

- 災害派遣医療チーム：Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとったもの
- 災害の発生直後（おおむね48時間以内）に活動を開始できる機動性をもっており、専門的な研修、訓練を受けた災害派遣医療チームです

災害派遣医療チーム

〈医師1名　看護師2名
事務員1名の4名構成が基本〉

DMAT発足のきっかけ

1995年に起こった、阪神・淡路大震災がきっかけです。負傷者の大半が適切な医療を受けられず、死亡した人がいたという事実や経験から災害現場での医療の必要性が認識されました。

その後、厚生労働省により、日本DMATが2005年に発足されました。

DMATの活動とは

- 重傷度や治療緊急度に応じた傷病者の振り分け
- 重症患者の医療機関への搬送
- 現場の病院、避難所、救護所での被災者、被災地支援
- 他の医療チームなどと情報共有、連携
- 応急処置

災害現場に派遣されるまでの流れ

1. 災害発生
2. 被災地の都道府県の自治体から、厚生労働省へDMATの派遣要請を受ける
3. DMAT指定医療機関へ通達される
4. DMAT指定医療機関から、DMAT登録者が被災地へ派遣される

どうしたらDMATになれる?

1. 厚生労働省等が実施する「日本DMAT隊員養成研修」を受けます
2. DMATには指定機関があり、その医療機関で救急医療を専門とする人が隊員として選出されます
3. 2～3日にわたり、日本DMATの研修を受け、さらに試験を受け、合格すると隊員になれます
隊員になった後にも、技能維持研修として新しい知識をアップデートすることが必要になります。

制作	Smart119	監修協力	新井久美子（救急科専門医）
情報元	厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001tefj-att/2r9852000001tev6.pdf		

DPATってなに？

厚生労働省のHPから

DPAT（Disaster Psychiatric Assistance Team）

- 自然災害や犯罪事件・航空機・列車事故等の集団災害が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。
- このような災害の場合には、被災地域の精神保健医療ニーズの把握、他の保健医療体制との連携、各種関係機関等とのマネージメント、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援が必要である。
- このような活動を行うために都道府県及び政令指定都市によって組織される、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームがDPATである。

定　義

DPATの構造

- DPATは、各都道府県等が継続して派遣する災害派遣精神医療チーム全ての班を指す
- 各班は、被災地の交通事情やライフラインの障害等、あらゆる状況を想定し、交通・通信手段、宿泊、日常生活面等で自立している必要がある

●先遣隊

●DPATを構成する班の中で、発災当日から遅くとも72時間以内に、所属する都道府県等外の被災地域においても活動できる班

●DPATの構成

以下の職種を含めた数名（車で移動を考慮した機動性の確保できる人数）

1. 精神科医師
2. 看護師
3. 業務調整員（ロジスティクス）
   - ●連絡調整、運転等、医療活動を行うための後方支援全般を行う者

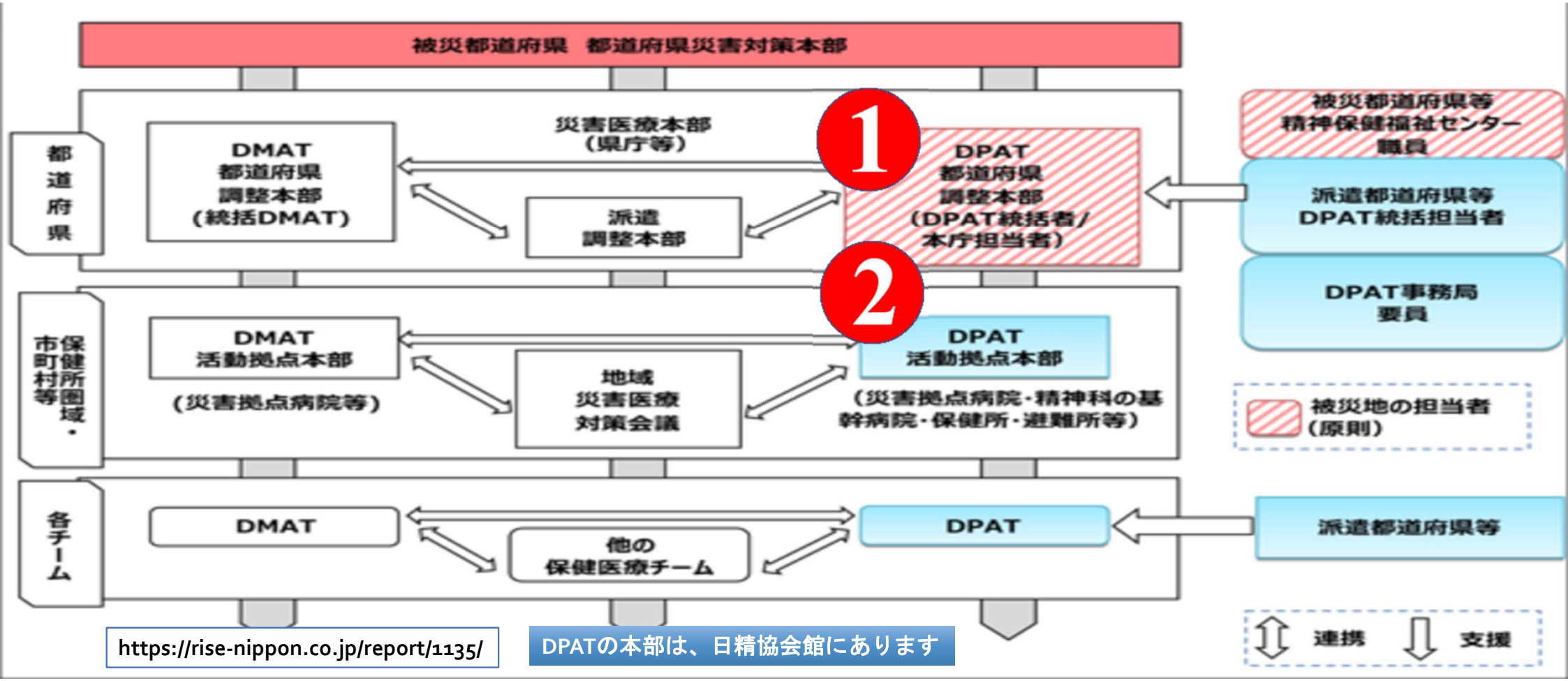
現地のニーズに合わせて、児童精神科医、薬剤師、保健師、PSW
臨床心理技術者等を含めて適宜構成
DPAT1班あたりの活動期間：1週間（移動日2日・活動日5日）が標準

ＤＭＡＴとＤＰＡＴの比較

	災害派遣医療チーム ＤＭＡＴ (Disaster Medical Assistance Team)	災害派遣精神医療チーム ＤＰＡＴ (Disaster Psychiatric Assistance Team)
概要	大地震及び航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な医療チーム	自然災害、航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後に被災者及び支援者に対して、精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な精神医療チーム
活動期間	ＤＭＡＴ１隊あたりの活動期間は、移動時間を除き概ね４８時間以内を基本。なお、災害の規模に応じて、ＤＭＡＴの活動が長期間（１週間など）に及ぶ場合には、ＤＭＡＴ２次隊、３次隊等の追加派遣で対応。また、ＤＭＡＴロジスティックチームの活動期間は、４８時間に限定せず、柔軟に対応	ＤＰＡＴ１隊当たりの活動期間は、1週間(移動日2日・活動日5日)を標準とし、必要があれば一つの都道府県等が数週間～数ヶ月継続して派遣
チーム構成	ＤＭＡＴ１隊の構成は、医師１名、看護師２名、業務調整員１名の４名を基本	ＤＰＡＴ1 隊の構成は、精神科医師、看護師、事務職員等による数名のチーム（車での移動を考慮した機動性の確保できる人数を検討）
情報システム	広域災害・救急医療情報システム （Emergency Medical Information System : EMIS）	災害精神保健医療情報支援システム （Disaster Mental Health Information Support System : DMHISS）

被災地域の災害医療体制におけるDPAT指揮命令系統

被災地域の現場は混乱しています。DPATには都道府県調整本部・活動拠点本部がある



https://rise-nippon.co.jp/report/1135/

DPATの本部は、日精協会館にあります

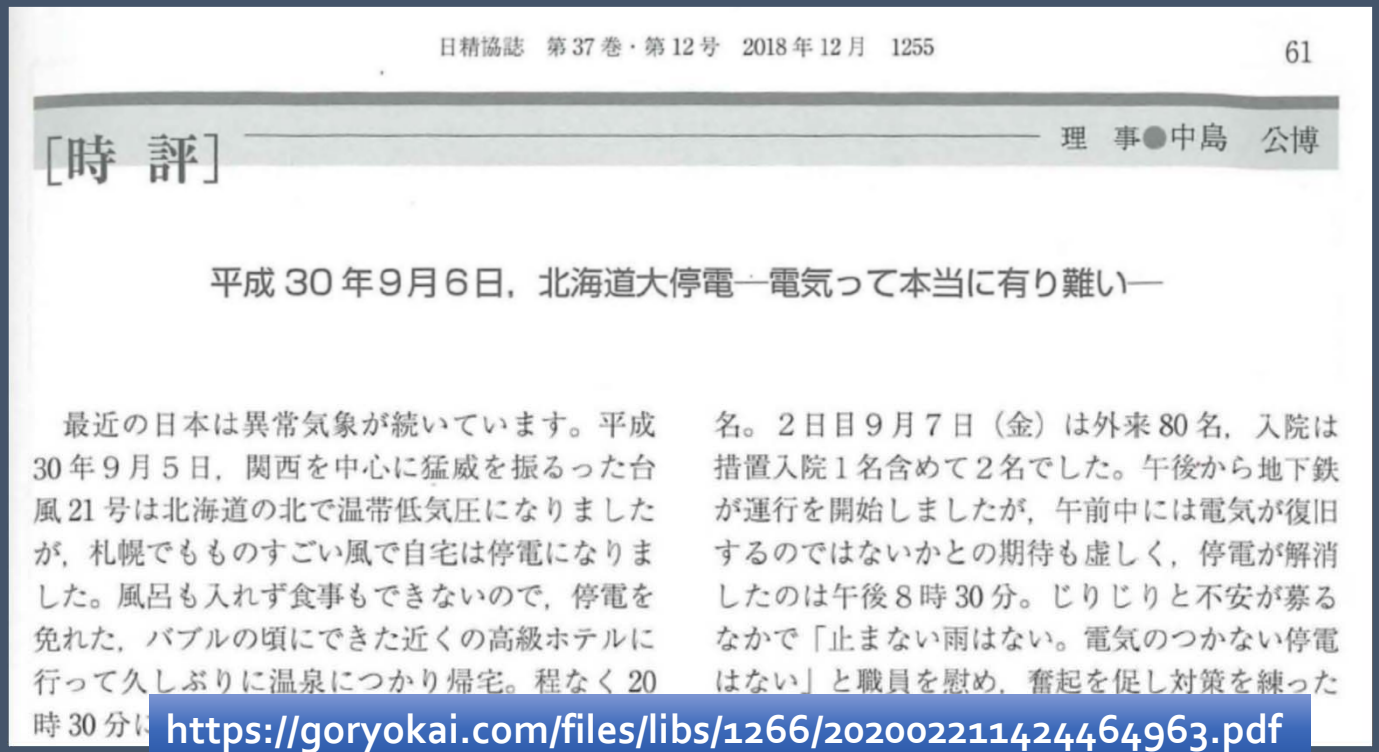
五稜会病院での災害対策

- 平成5年7月12日北海道南西沖地震：北海道の要請で災害支援ナース派遣
- 平成23年3月11日東日本大震災時：五稜会病院DPATチーム派遣
- 平成30年9月6日北海道胆振東部地震：ブラックアウト（全道が停電）対応
- 令和6年1月1日能登半島地震：

●DPATチーム　2つ
- 精神科医
- 看護師
- 心理士　　等

●日本精神科病院協会
- 災害時支援中心病院

●札幌市
- 災害時精神科医療基幹病院



日精協誌　第37巻・第12号　2018年12月　1255　61

[時　評]　理　事●中島　公博

平成30年9月6日，北海道大停電―電気って本当に有り難い―

最近の日本は異常気象が続いています。平成30年9月5日，関西を中心に猛威を振るった台風21号は北海道の北で温帯低気圧になりましたが，札幌でもものすごい風で自宅は停電になりました。風呂も入れず食事もできないので，停電を免れた，バブルの頃にできた近くの高級ホテルに行って久しぶりに温泉につかり帰宅。程なく20時30分に

名。2日目9月7日（金）は外来80名，入院は措置入院1名含めて2名でした。午後から地下鉄が運行を開始しましたが，午前中には電気が復旧するのではないかとの期待も虚しく，停電が解消したのは午後8時30分。じりじりと不安が募るなかで「止まない雨はない。電気のつかない停電はない」と職員を慰め，奮起を促し対策を練った

https://goryokai.com/files/libs/1266/20200221142446 4963.pdf

まとめ

DMAT・DPAT

- 日本は地震・災害が多い国の一つです
- DMATとは
- DPATとは
- DMATとDPATの違い
- DPATの指揮命令系統
- 五稜会病院での災害対策

備えあれば憂いなし

準備をしっかりとしていれ ば、いざというとき結果がどうかと心配することはない

GORYOKAI